

中医協「2010年度第7回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会」
機能評価係数Ⅱの改定は毎年4月1日

2010/10/27

診療報酬調査専門組織・DPC
評価分科会（分科会長：西岡
清・横浜市立みなと赤十字病院
名誉院長）は10月26日、機能評
価係数Ⅱについて改定実施時
期を毎年4月1日とするなど、事
務局が示した今後の運用案を
了承した。同案によると、①機



能評価係数Ⅱの改定実施時期は毎年4月1日、②地域医療係数の評価基準日は、各病院からの届出項目を処理する期間を考慮して10月1日、③その他の係数については、毎年4月から10月までの7カ月分（2011年度のみ7月から10月の4カ月分）の診療実績データで翌年度の評価を決定——とする。

委員からは、③について、「脳外科などは冬期に診療・救急の実態が激変する」などとして、通年の診療実績データを反映させるべきとの意見が相次いだ。通年のデータを反映させるには毎年の改定が困難になるとの事務局の意向や、季節変動の影響は通年の退院患者データで検証してから次々回改定以降で反映を検討するべきなどの意見もあり、事務局案どおり了承した。

また、2011年4月から導入とされている、データ提出係数の「部位不明・詳細不明コードが40%以上の場合に評価を1年間5%減算」については、対象を「医療資源を最も投入した傷病」とし、分類名に「不明」「不詳」（例：部位不明、性状不詳）の単語が記載されている4桁以上のICDコードについて判定することで了承した（下表参照）。

【参考】ICDコードの実例（アルファベットを含めた桁数で判定する）

ICDコード	名称	判定基準(案)
C57	C57 その他及び 部位不明 の女性生殖器の悪性新生物	判定対象外
C570	C57.0 卵管の悪性新生物	×
C571	C57.1 子宮広間膜<靭帯>の悪性新生物	×
C572	C57.2 子宮円索<靭帯>の悪性新生物	×
C573	C57.3 子宮傍(結合)組織の悪性新生物	×
C574	C57.4 子宮付属器の悪性新生物、 部位不明	○
C577	C57.7 その他の明示された女性生殖器の悪性新生物	×
C578	C57.8 女性生殖器の境界部病巣	×
C579	C57.9 女性生殖器の悪性新生物、 部位不明	○

○:「部位不明」と判定する

×:「部位不明」とは判定しない

※分科会の資料を基に作成

■精神病棟へのDPC適用についての議論も

前回のDPC評価分科会において今後の検討スケジュールを示したのに続き、この日事務局は検討に先立って「DPC制度の基本的な考え方に関連する論点」を示し、「包括評価の対象とする診療報酬項目（下表②）」と「医療機関別係数による評価（下表④）」を重点的に議論することを確認した。

【DPC制度の基本的な考え方に関連する論点】

①包括評価の対象患者

- ・ 現行のDPC対象患者・除外患者について課題はあるか
- ・ 精神病棟へのDPC制度適用についてどう考えるか

②包括評価の対象とする診療報酬項目

- ・ 現行の包括範囲設定について課題はあるか
- ※抗がん剤を含む高額薬剤等の取り扱いについては重点的に議論する予定あり

③包括評価の算定方式

- ・ 1日当たり定額報酬算定方式について課題はあるか
- ・ 現行の3段階の報酬設定方式について課題はあるか

④医療機関別係数による評価

- ・ 現行の医療機関別係数による評価方法（定額報酬に係数を乗じる方法）について課題はあるか
- ※医療機関別係数の在り方については重点的に議論する予定あり

※分科会の資料を基に作成

①については、事務局が、精神疾患を持つ救急患者が一般病棟にも精神病棟にも入院する可能性があることを例に挙げ、MDC17の「精神疾患」に掲げられている疾患に限り、精神病棟にDPCを導入するか検討してはどうかと提案したのに対し、「精神病棟にも看護配置10対1を求めるのか」など疑問を呈する意見が多く上がった。今後松田晋哉委員（産業医科大学医学部公衆衛生学教授）が提出するデータ等を基に、議論の要否を判断する。そのほか、「入院後24時間以内の死亡患者」について、患者によって医療費の投入量に差があるためにDPC対象外とされているのであれば、どれほどの差があるのか検証すべきとの意見も出た。

③に関しては、DPCの報酬設定によって平均在院日数の短縮が一定程度進んだことを確認し、委員から新たな課題点は出なかった。

次の開催は11月24日の予定。